
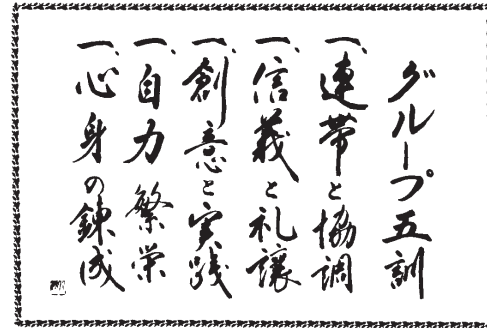


# 第67期 報告書



北海道中央バス株式会社



※このグループ五訓は中央バスグループ各社に共通する基本理念を表したもので、中央バスグループの統一社であります。



目次

株主の皆様へ.....	2	安全輸送と環境への取り組み.....	11
中央バスグループの概要.....	3	関連事業のご案内.....	12
営業の概況.....	4	会社概要.....	13
連結財務諸表.....	7	株主優待制度のご案内.....	14
個別財務諸表.....	9		

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第67期報告書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の改善を背景とした輸出の増加等により、景気に持ち直しの兆しが見られたものの、失業率が依然として高い水準で推移するなど厳しい状況が続きました。道内経済におきましても、全国と同様、また、それ以上の厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、「グループ五訓」の精神のもとに結束し、地域に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高35,185百万円（前連結会計年度比2.5%増）、営業利益1,046百万円（同7.5%減）、経常利益1,145百万円（同7.3%減）、当期純利益311百万円（同13.1%増）となりました。

当社グループの対処すべき課題としまして、バス事業におきましては、「運輸安全マネジメント制度」のもと、より安全・安心なバスを目指して、全社員一丸となって、社会的使命である輸送の安全の確保を図ってまいります。また、少子高齢化、地方都市での人口減少、高速道路料金の一部無料化の実施によるマイカーへの移行やツアーバス参入等、バス需要の減少の懸念材料がありますが、地域住民の生活を支える地域公共交通として、利用者ニーズを的確に把握した事業計画を推進し、利便性の向上を図ります。加えて、定期観光バスの多言語案内システムによる外国人対応等、北海道観光の活性化につながる施策にも積極的に取り組み、新たな需要を掘り起こす取組みにも積極的に行ってまいります。環境問題につきましては、燃料節約運転の推進等により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組むとともに、環境に関するPR活動を幅広く展開し、「環境にやさしいバス」の利用を促進してまいります。

建設業をはじめ、清掃業・警備業、不動産事業、観光事業、その他の事業におきましても、先行き厳しい経営環境にありますが、経営体質の強化と積極的な営業活動に取り組み、当社グループ全体の収益の維持、拡大に努力してまいります。

当社グループは、これからも北海道に根ざした企業集団として、地域社会の発展に貢献するべく、全力を尽くす所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長 平尾 一彌

旅客自動車運送事業	北海道中央バス(株) 空知中央バス(株) ニセコバス(株) 札幌第一観光バス(株)																
建設業	(株)泰進建設 勝井建設工業(株) 藤信建設(株)																
清掃業・警備業	中央ビルメンテナンス(株)																
不動産事業	北海道中央バス(株) (株)泰進建設 中央バス観光商事(株)																
観光事業	北海道中央バス(株) 中央バス観光商事(株)																
その他の事業	<table border="0"> <tr> <td>飲食業</td> <td>北海道中央バス(株)</td> </tr> <tr> <td>公衆浴場業</td> <td>北海道中央バス(株)</td> </tr> <tr> <td>物品販売業</td> <td>中央バス観光商事(株)・中央バス総業(株)</td> </tr> <tr> <td>自動車教習所</td> <td>(株)中央バス自動車学園</td> </tr> <tr> <td>情報・サービス業</td> <td>中央バスビジネスサービス(株)</td> </tr> <tr> <td>情報記録物製造業</td> <td>ファーストソニック(株)</td> </tr> <tr> <td>旅行業</td> <td>(株)シービーツアーズ</td> </tr> <tr> <td>保険代理店業</td> <td>中央振興(株)</td> </tr> </table>	飲食業	北海道中央バス(株)	公衆浴場業	北海道中央バス(株)	物品販売業	中央バス観光商事(株)・中央バス総業(株)	自動車教習所	(株)中央バス自動車学園	情報・サービス業	中央バスビジネスサービス(株)	情報記録物製造業	ファーストソニック(株)	旅行業	(株)シービーツアーズ	保険代理店業	中央振興(株)
飲食業	北海道中央バス(株)																
公衆浴場業	北海道中央バス(株)																
物品販売業	中央バス観光商事(株)・中央バス総業(株)																
自動車教習所	(株)中央バス自動車学園																
情報・サービス業	中央バスビジネスサービス(株)																
情報記録物製造業	ファーストソニック(株)																
旅行業	(株)シービーツアーズ																
保険代理店業	中央振興(株)																

(注) 中央バス総業(株)、中央振興(株)は、持分法適用関連会社であります。

## 旅客自動車運送事業

乗合バス部門では、都市間高速バスのテレビコマーシャル等、積極的なPR活動を行い、利用促進を図るとともに、バスカードの利用範囲を空知方面高速バスに拡大するなど、利便性の向上に努めました。また、札幌市の補助制度見直しによる路線補助金の増加もありましたが、景気低迷や新型インフルエンザ流行、高速道路のETC割引等による輸送需要の落ち込みが大きく、減収となりました。貸切バス部門では、景気低迷や新型インフルエンザ流行とともに競争の激化で受注が落ち込み、減収となりました。

この結果、売上高は20,819百万円（前連結会計年度比3.2%減）、営業利益は579百万円（同29.0%減）となりました。



### 建設業

建設業は、受注競争が激化するなか、技術提案力を強化し、受注確保に努め、前年度に比して大幅な増収となりました。また、経営資源の集中と効率化を図るため、連結子会社の㈱泰進建設は平成21年12月1日付で、同じく連結子会社の北海道開発設備電業㈱を吸収合併いたしました。

この結果、売上高は9,350百万円（前連結会計年度比20.8%増）、営業利益は10百万円となりました。

### 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、景気低迷を反映した新規受注の減少、契約内容の見直しや解約により、減収となりました。

この結果、売上高は2,684百万円（前連結会計年度比15.1%減）、営業利益は61百万円（同47.5%減）となりました。

### 不動産事業

不動産事業は、宅地の販売、遊休不動産の新規賃貸等を行い、またテナントビルの入居者獲得に向け、積極的な営業活動を展開いたしましたが、賃貸物件の解約等により、減収となりました。

この結果、売上高は1,119百万円（前連結会計年度比1.8%減）、営業利益は459百万円（同2.0%増）となりました。

### 観光事業

観光事業は、小樽天狗山スキー場では索道料金の改定を行い、収支改善を図りました。ニセコアンプリ国際スキー場とホテルニセコいこいの村では、スキーパック等の個人向け商品の販売強化やイベントの開催等、一体となって増収に努めましたが、景気低迷や新型インフルエンザ流行、悪天候によるリフト運休の影響により、減収となりました。

この結果、売上高は713百万円（前連結会計年度比5.6%減）、170百万円の営業損失となりました。

### その他の事業

旅行業は、平成21年4月に開設した空知地区の営業拠点を中心に積極的に新規顧客開拓活動を展開したこと等により、増収となりました。自動車教習所は、平成21年5月に普通車教習料金改定を実施し、また高齢者講習の回数を増やすなど、増収を図りました。物品販売業は、札幌市内地下鉄売店の売上減が大きく影響し、減収となりました。

この結果、売上高は3,294百万円（前連結会計年度比2.3%減）、営業利益は62百万円（同154.1%増）となりました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	9,779,821	10,360,503
現金及び預金	5,420,058	6,015,545
受取手形及び売掛金	3,729,344	3,649,728
有価証券	-	49,725
たな卸資産	271,123	327,584
繰延税金資産	135,248	133,127
その他	229,070	186,685
貸倒引当金	△ 5,024	△ 1,893
<b>固定資産</b>	22,896,743	22,536,915
<b>有形固定資産</b>	19,878,317	18,925,615
建物及び構築物	18,444,208	18,346,925
減価償却累計額	△ 13,212,210	△ 13,455,335
機械及び装置	2,773,833	2,915,000
減価償却累計額	△ 2,461,926	△ 2,526,599
車両運搬具	25,474,656	24,980,715
減価償却累計額	△ 22,063,878	△ 22,176,544
工具器具及び備品	1,374,762	1,316,081
減価償却累計額	△ 1,195,944	△ 1,186,779
土地	10,734,248	10,696,258
建設仮勘定	10,568	15,891
<b>無形固定資産</b>	93,253	83,779
ソフトウェア	65,177	55,403
その他	28,076	28,375
<b>投資その他の資産</b>	2,925,171	3,527,521
投資有価証券	2,349,496	2,917,687
長期貸付金	-	262,664
長期前払費用	47,837	37,129
繰延税金資産	286,715	119,644
その他	387,163	344,773
貸倒引当金	△ 146,041	△ 154,377
<b>資産合計</b>	32,676,564	32,897,419

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	4,481,871	4,432,578
支払手形及び買掛金	1,752,106	1,923,192
未払費用	432,757	426,703
未払消費税等	119,101	151,869
未払法人税等	107,813	187,813
前受金	212,427	558,500
賞与引当金	198,091	193,776
完成工事補償引当金	1,901	2,279
工事損失引当金	980	-
その他	1,656,693	988,442
<b>固定負債</b>	3,375,691	3,339,757
繰延税金負債	170,135	322,020
退職給付引当金	2,614,147	2,426,697
役員退職引当金	252,609	246,525
その他	338,799	344,514
<b>負債合計</b>	7,857,563	7,772,336
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	24,562,525	24,712,606
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	22,828,063	22,992,556
自己株式	△ 1,116,639	△ 1,131,050
<b>評価・換算差額等</b>	131,916	275,257
その他有価証券評価差額金	131,916	275,257
<b>少数株主持分</b>	124,559	137,219
<b>純資産合計</b>	24,819,001	25,125,083
<b>負債及び純資産合計</b>	32,676,564	32,897,419

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
<b>売上高</b>	34,315,543	35,185,248
売上原価	30,918,206	31,821,582
<b>売上総利益</b>	3,397,337	3,363,665
販売費及び一般管理費	2,265,165	2,316,705
<b>営業利益</b>	1,132,172	1,046,960
営業外収益	109,655	101,001
営業外費用	5,763	2,177
<b>経常利益</b>	1,236,065	1,145,784
特別利益	150,631	282,846
特別損失	578,265	675,306
<b>税金等調整前当期純利益</b>	808,431	753,324
法人税、住民税及び事業税	103,150	207,830
法人税等調整額	407,022	221,569
少数株主利益(控除)	22,936	12,659
<b>当期純利益</b>	275,322	311,265

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,182,747	3,828,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,879,990	△ 3,175,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 488,433	△ 164,284
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	△ 1,185,677	489,135
現金及び現金同等物の期首残高	4,646,387	3,460,710
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	3,460,710	3,949,845

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	2,100,000	751,101	22,828,063	△ 1,116,639	24,562,525	131,916	131,916	124,559	24,819,001
<b>当期変動額</b>									
剰余金の配当			△ 146,772		△ 146,772				△ 146,772
当期純利益			311,265		311,265				311,265
自己株式の取得				△ 14,411	△ 14,411				△ 14,411
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						143,340	143,340	12,659	156,000
<b>当期変動額合計</b>	-	-	164,493	△ 14,411	150,081	143,340	143,340	12,659	306,082
<b>当期末残高</b>	2,100,000	751,101	22,992,556	△ 1,131,050	24,712,606	275,257	275,257	137,219	25,125,083

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

科目	第66期 (平成21年3月31日現在)	第67期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>4,204,892</b>	<b>4,127,063</b>
現金及び預金	2,838,855	2,865,405
売掛金	941,148	952,139
有価証券	-	49,725
貯蔵品	64,042	68,926
繰延税金資産	57,071	58,442
短期貸付金	200,000	50,000
その他	106,498	83,076
貸倒引当金	△ 2,724	△ 651
<b>固定資産</b>	<b>21,096,633</b>	<b>20,736,559</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>17,375,993</b>	<b>16,504,186</b>
建物	3,707,064	3,471,171
構築物	831,671	766,595
機械及び装置	318,976	396,346
車両運搬具	3,286,079	2,706,624
工具器具及び備品	123,466	86,456
土地	9,098,166	9,061,101
建設仮勘定	10,568	15,891
<b>無形固定資産</b>	<b>60,264</b>	<b>48,845</b>
ソフトウェア	49,145	37,414
電話加入権	8,661	8,661
施設利用権	2,457	2,770
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,660,374</b>	<b>4,183,526</b>
投資有価証券	2,050,884	2,631,775
関係会社株式	1,157,106	1,148,392
長期貸付金	371,000	341,000
長期前払費用	39,744	29,887
その他	88,695	54,402
貸倒引当金	△ 47,057	△ 21,931
<b>資産合計</b>	<b>25,301,525</b>	<b>24,863,622</b>

(単位：千円)

科目	第66期 (平成21年3月31日現在)	第67期 (平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,680,733</b>	<b>1,926,841</b>
買掛金	571,672	503,142
未払金	154,437	154,934
未払費用	270,572	266,377
未払消費税等	46,285	83,953
未払法人税等	42,547	171,255
前受金	80,278	81,214
預り金	423,410	455,889
その他	1,091,529	210,074
<b>固定負債</b>	<b>2,571,224</b>	<b>2,599,214</b>
繰延税金負債	231,713	411,599
退職給付引当金	1,948,527	1,773,571
役員退職引当金	108,544	122,144
その他	282,438	291,899
<b>負債合計</b>	<b>5,251,957</b>	<b>4,526,055</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>19,915,420</b>	<b>20,064,534</b>
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
資本準備金	751,101	751,101
利益剰余金	17,730,912	17,894,437
利益準備金	525,000	525,000
その他利益剰余金	17,205,912	17,369,437
土地圧縮積立金	899,565	899,565
その他資産圧縮積立金	573,420	539,547
特別償却準備金	38,703	99,834
買換等特別勘定積立金	-	578
配当準備積立金	393,000	393,000
別途積立金	13,800,000	13,800,000
繰越利益剰余金	1,501,222	1,636,911
自己株式	△ 666,592	△ 681,003
<b>評価・換算差額等</b>	<b>134,146</b>	<b>273,032</b>
その他有価証券評価差額金	134,146	273,032
<b>純資産合計</b>	<b>20,049,567</b>	<b>20,337,567</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>25,301,525</b>	<b>24,863,622</b>

# 個別財務諸表

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	第66期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第67期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>21,916,074</b>	<b>21,343,786</b>
売上原価	20,096,261	19,663,793
<b>売上総利益</b>	<b>1,819,812</b>	<b>1,679,992</b>
一般管理費	761,256	842,670
<b>営業利益</b>	<b>1,058,556</b>	<b>837,321</b>
営業外収益	88,799	78,330
営業外費用	5,084	920
<b>経常利益</b>	<b>1,142,270</b>	<b>914,731</b>
特別利益	131,635	209,340
特別損失	451,295	569,902
<b>税引前当期純利益</b>	<b>822,610</b>	<b>554,168</b>
法人税、住民税及び事業税	26,739	160,752
法人税等調整額	356,155	83,119
<b>当期純利益</b>	<b>439,715</b>	<b>310,297</b>

## 株主資本等変動計算書

第67期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本											自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等	純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合計							
		資本準備金	資本剰余金合計		土地圧縮積立金	その他資産圧縮積立金	特別償却準備金	買換等特別勘定積立金	配当準備積立金	別途積立金							繰越利益剰余金	
前期末残高	2,100,000	751,101	751,101	525,000	899,565	573,420	38,703	-	393,000	13,800,000	1,501,222	17,730,912	△ 666,592	19,915,420	134,146	134,146	20,049,567	
当期変動額																		
剰余金の配当												△ 146,772	△ 146,772		△ 146,772			△ 146,772
その他資産圧縮積立金の積立						1,906					△ 1,906	-	-		-			-
その他資産圧縮積立金の取崩し						△ 35,778					35,778	-	-		-			-
特別償却準備金の積立							69,698				△ 69,698	-	-		-			-
特別償却準備金の取崩し							△ 8,568				8,568	-	-		-			-
買換等特別勘定積立金の積立								578			△ 578	-	-		-			-
当期純利益											310,297	310,297		310,297				310,297
自己株式の取得												△ 14,411	△ 14,411					△ 14,411
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)															138,886	138,886	138,886	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△ 33,872	61,130	578	-	-	135,689	163,525	△ 14,411	149,113	138,886	138,886	287,999	
当期末残高	2,100,000	751,101	751,101	525,000	899,565	539,547	99,834	578	393,000	13,800,000	1,636,911	17,894,437	△ 681,003	20,064,534	273,032	273,032	20,337,567	

## 安全輸送に関する取り組みについて

『運輸安全マネジメント』が導入されて3年半を経過し、「輸送の安全の確保が事業経営の根幹であり、社会的使命である」「関係法令・規則を遵守する」「人身事故の絶滅を図る」とする、【安全方針】を平成22年度から新たに策定しました。さらに「安全最優先」の理念のもと、より安全・安心なバスを目指し、事業用バスの「総合安全プラン2009」の目標を踏まえ、重点目標を数値で明確に示し、輸送の安全に関する目標の達成に向け取り組んでおります。

平成21年度は、これまでの取り組みにより、総合的な事故件数と責任ある事故件数は前年に続き着実に減少する成果がみられました。一方、もらい事故による負傷者が前年に比べ増えたことから「防衛運転」をさらに推進し、安全風土の定着を図るべく、輸送の安全性の向上に努めてまいります。

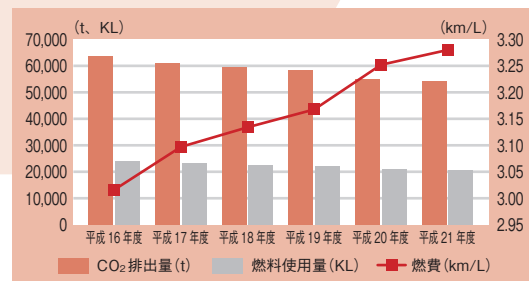
## 環境問題への取り組みについて

当社では、地域の一員として信頼される事業活動を行ううえで、環境保護活動に取り組むことが企業の社会的義務であると考えております。環境保護活動を推進するため社員の環境保護活動への参加意識を高めるとともに、地球環境にやさしい乗り物として、バスの魅力の向上に努めます。

### ～エコ運転によるCO<sub>2</sub>排出量の削減～

適正なエンジン回転数での走行、指定交差点でのアイドリング・ストップ等、全社一丸となった取り組みが成果を結び、二酸化炭素排出量が平成20年度に比べ1.6%減少いたしました。

今後もより一層の安全運転・エコ運転に努めてまいります。



CO<sub>2</sub>排出量・燃料使用量の推移

## 小樽天狗山ロープウェイ・小樽天狗山スキー場



日本の代表的な観光地を評価する「ミシュラン・グリーンガイド」にも掲載された小樽天狗山。ロープウェイは通年運行しております。山頂からは小樽市街、積丹半島、石狩湾、暑寒別連峰が一望でき、毎年2月に「小樽雪あかりの路in天狗山」、8月には「天狗山夜景の日・天狗山まつり」等、様々なイベントが開催されます。また、全国の天狗の面を集めた「天狗の館」、「スキー資料館」があり毎年多くの観光客でにぎわっております。

■住所：小樽市最上2丁目16番15号  
■お問い合わせ先：0134-33-7381（小樽天狗山ロープウェイ）

## ニセコアンヌプリ国際スキー場・ホテルニセコいこいの村



ニセコでは最大級の規模を誇るゲレンデがあり、世界に誇るパウダースノーを楽しむことができます。夏期間のゴンドラは初夏の6月から紅葉が見ごろの10月まで運行しており、登山やトレッキングが楽しめます。また、スキー場に隣接するホテルニセコいこいの村は、大自然に囲まれた、心からくつろげるおもてなしの宿で、一年を通して皆様にご愛顧いただいております。特に、森に囲まれた温泉露天風呂は雰囲気満点です。また、バーベキューハウス「木々亭」、パークゴルフ場等日帰りでも十分楽しめます。皆様のご来館をお待ちしております。

■住所：虻田郡ニセコ町字ニセコ485番地・473番地  
■お問い合わせ先：0136-58-2080（ニセコアンヌプリ国際スキー場）  
0136-58-3111（ホテルニセコいこいの村）

## ワインカフェ・ワインショップ「小樽バイン」



小樽市の歴史的建造物に指定されている店舗で、時代の流れを感じながら旬の地場食材を使ったパスタやピザ等の美味しいメニューとおたるワインが楽しめます。また、ショップではオリジナルワイン他、お土産を販売しております。落ち着いた雰囲気の中で、くつろいだ時間をお過ごしください。

■住所：小樽市色内1丁目8番6号（日銀旧小樽支店向い）  
■お問い合わせ先：0134-24-2800

## 湯めぐち 南郷の湯・はなまるうどん札幌南郷店



建物の外観は明治45年建造の当社本社をイメージし、ゆったりとした落ち着いた雰囲気、バリアフリーとなっております。敷地内には本場讃岐うどんを手頃にお楽しみいただける「はなまるうどん札幌南郷店」があります。本場讃岐のうどんが、一杯105円から。スタッフ一同、笑顔で、皆様のご来店をお待ちしています！

■住所：札幌市白石区南郷通14丁目北3番地  
■お問い合わせ先：011-846-4126（南郷の湯）  
011-846-8700（はなまるうどん）

商 号 北海道中央バス株式会社  
 設 立 登 記 昭和19年1月27日  
 資 本 金 21億円  
 主要な事業内容 旅客自動車運送事業、貸切旅行事業、不動産事業、飲食業、ホテル業、公衆浴場業  
 従 業 員 数 1,788名  
 バス車両数 1,190両  
 免許路線軒 5,056軒

株式の状況 (平成22年3月31日現在)  
 発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式の総数 31,460,000株  
 株 主 数 1,527名

役 員 (平成22年6月29日現在)  
 代表取締役社長 平 尾 一 彌  
 代表取締役専務 牧 野 和 夫  
 常 務 取 締 役 加 藤 幸 嗣  
 常 務 取 締 役 平 間 俊 一  
 常 務 取 締 役 今 雅 基  
 常 務 取 締 役 児 玉 康  
 取 締 役 大 森 正 昭  
 取 締 役 久 保 田 勝 利  
 取 締 役 橋 本 雄 二  
 取 締 役 戸 井 宣 夫  
 取 締 役 村 上 公 彦  
 常 勤 監 査 役 佐 藤 孝  
 監 査 役 北 市 久 淑  
 監 査 役 富 岡 公 治

中央バスホームページのご案内



当社では、ホームページで、路線案内や時刻表、中央バスからのお知らせ等、様々な情報を提供しております。是非ご覧ください。  
<http://www.chuo-bus.co.jp/>

下記発行基準日の最終の株主名簿に記録された株主の皆様へ、ご所有株式数に応じて、株主優待乗車証引換券または株主優待割引券及び株主優待利用券を発行いたします。

1. 優待乗車証引換券・優待割引券

ご所有株式数	優待内容
1,000株以上3,000株未満	優待割引券 3枚 次の乗車券をご購入の際、券面額の30%相当額（10円未満切り捨て）を割引いたします。
3,000株以上5,000株未満	優待割引券 6枚 片道乗車券、往復乗車券（設定のあるもの） 2,000円以内の金券式回数券、3,000円以内の中央バスカード
5,000株以上7,000株未満	優待割引券 9枚 ※当社及び当社グループ会社路線に適用いたします。定期観光路線・予約制路線・共同運行路線、定期乗車券・区間指定回数券・札幌～小樽高速バス共通バスカードには適用いたしません。（ただし共同運行路線のうち札幌～旭川間及び札幌～小樽間は当社バスのみ適用いたします。）
7,000株以上9,900株未満	優待割引券 12枚 ※当社ターミナル等の窓口にて営業時間内に限りお取り扱いいたします。バス車内及び乗車券委託販売店ではご使用になれません。
9,900株以上～	優待乗車証引換券 9,900株につき1枚 引換券1枚 1路線（または地域市内線）乗車証（高速自動車道経由路線を除く） 引換券2枚 1路線（高速自動車道経由路線）乗車証 引換券4枚 全路線乗車証 ※当社及び当社グループ会社路線に適用いたします。定期観光路線・予約制路線・共同運行路線・期間限定路線には適用いたしません。（ただし、共同運行路線のうち札幌～旭川間及び札幌～小樽間は当社バスのみ適用いたします。）乗車証は記名式で、記名者ご本人様のみご使用可能です。

2. 優待利用券（1,000株以上ご所有の株主様）

- ・小樽バイン無料飲食券（1,000円相当） 1枚  
※小樽バインカフェ店内でのご飲食の際にご使用いただけます。ショップではご使用いただけません。ご利用の際、つり銭はお渡しできません。また、他のサービス券・割引券との併用はできません。
- ・小樽天狗山スキー場またはニセコアンヌプリ国際スキー場リフト8時間券引換券 2枚  
※各スキー場リフト券引換券は、ロープウェイ・ゴンドラリフトのチケット売場にてお取り扱いいたします。夏期間はロープウェイまたはゴンドラ往復乗車券と引換いたします。  
本引換券により引換えしたリフト券・乗車券については、ご利用されない場合であっても現金の払戻しはいたしません。
- ・さっぽろ散策バス・さっぽろお～く共通1日乗車券引換券 1枚  
※「札幌ターミナル」及び「札幌駅前ターミナル」乗車券発売窓口にてお取り扱いいたします。  
本引換券により引換えしたさっぽろ散策バス・さっぽろお～く共通1日乗車券については、ご利用されない場合であっても現金の払戻しはいたしません。

3. 発行基準日等

種 類	発行基準日	交付時期	有効期間
優待乗車証引換券または優待割引券	3月31日	4月下旬	5月1日から10月31日まで
	9月30日	10月下旬	11月1日から翌年4月30日まで
優待利用券	3月31日	4月下旬	5月1日から翌年4月30日まで

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
1単元の株式数	1,000株
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期 末 配 当 3月31日
公告掲載方法	電子公告（下記ホームページに掲載いたします。） <a href="http://www.chuo-bus.co.jp/">http://www.chuo-bus.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載して行います。
上場取引所	札幌証券取引所（証券コード9085）
株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）

### 株式に関する手続き・お問い合わせについて

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求及び相続等のご相談、お手続きは、以下のとおりです。

- 証券会社に株式を預けている場合  
株主様が口座を開設されているお取引証券会社にお問い合わせください。
- 上記以外の場合  
特別口座管理機関であるみずほ信託銀行にお問い合わせください。

※株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様のご所有株式は、みずほ信託銀行の「特別口座」に記録されました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記のみずほ信託銀行フリーダイヤルにお問い合わせください。

## 北海道中央バス株式会社

本 社／〒047-8601 小樽市色内1丁目8番6号  
札幌本部／〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3番地  
TEL 0134-24-3301（総務課）  
<http://www.chuo-bus.co.jp/>